

株式会社 J T S 御中

トレハロース AN

製品安全データシート

作成・改訂日 2011年4月20日

1 製品及び会社情報	
製品名	トレハロース AN
整理番号	50021
会社名	日澱化学株式会社
住所	大阪市淀川区三津屋北三丁目3-29
担当部門	品質管理部
電話番号	06-6309-7654
FAX番号	06-6308-1655
緊急連絡先	06-6309-7654
メールアドレス	hinkan@nichidene.com
2 危険有害性の要約	
GHS分類：	該当区分なし
ラベル要素：	なし
最重要危険有害性：	
有害性：	特に認められない
環境影響：	現在のところ認められない
物理的及び化学的危険性：	特に認められない
3 組成、成分情報	
化学物質 / 混合物の区別	化学物質
化学名	2-アルケルコはく酸エステル化トレハロ-ナトリウム塩
一般名	オクチルコハク酸エステル化トレハロ-ナトリウム水溶液 (50%)
濃度又は濃度範囲	99.0%以上 (無水換算)
C A S No.	216166-14-2
化学式又は構造式	Trehalose-0-COCH(CH ₂ COONa)CH ₂ CH=CHC ₅ H ₁₁
官報公示整理番号	
化審法：	該当なし
危険有害成分	PRTR法第一種、第二種指定化学物質： 含有せず 労働安全衛生法通知対象物質： 含有せず 「内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質」リスト該当物質： 含有せず
4 応急処置	
吸入した場合：	大量の水により洗い流す。
皮膚に付着した場合：	流水によりよく洗浄し、場合により医師の治療をうける。
目に入った場合：	洗眼器などでよく洗浄し、場合により眼科医の治療をうける。
飲み込んだ場合：	うがいなどを行い、水を飲む。
応急措置をする者の保護：	救命者は保護手袋、防塵マスク、保護眼鏡などの保護具を着用する。
5 火災時の措置	
消火剤：	水、二酸化炭素、泡沫消火剤等による。
特有の消火方法：	大量の水、消火器で消火する。 燃焼していない粉末を粉塵状にしてはいけない。
消火を行う者の保護：	消火時には滑らないように注意すること。
6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	保護手袋、防塵マスク、保護眼鏡を着用すること。 漏出場所を関係者以外立ち入り禁止とし、風上から作業を行う。
環境に対する注意事項：	水質汚濁法の排出基準に従うこと。
封じ込め及び浄化の方法	流水で洗い流す。
・ 機材：	流水で洗い流す際には、泡が発生するので、十分に洗浄すること。

トレハロース AN

7	取扱い及び保管上の注意	
	取扱い	
	技術的対策：	開封後は、直ちに密閉して、吸湿を防止すること。
	注意事項：	取扱い時は、漏洩に注意すること。
	安全取扱い注意事項：	吸湿、水濡れを避け、乾燥状態で取り扱うこと。
	保管	
	適切な保管条件：	破袋や水濡れを防止し、乾燥した屋内倉庫に保管。
	安全な容器包装材料：	紙、ポリプロピレン、ポリエチレンなど。
8	暴露防止措置及び保護措置	
	設備対策：	必要であれば、排気装置を設置する。
	管理濃度：	特に設定せず
	保護具：	
	呼吸器用の保護具：	必要に応じて防塵マスクを着用すること。
	手の保護具：	必要に応じて保護手袋を着用すること。
	目の保護具：	必要に応じて保護眼鏡を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具：	必要に応じて制電服を着用すること。
9	物理的及び化学的性質	
	物理的状態（20℃）：	液体
	色及び形状：	淡黄色透明粘ちよう溶液
	臭い：	若干の臭いあり
	pH：	6.0-8.0
	融点：	-（炭化）
	沸点／沸騰範囲：	-（炭化）
	発火点：	約400（文献1）
	引火点：	-（炭化）
	燃焼又は爆発範囲	
	上限：	情報なし
	下限：	現在のところ知見なし
	比重又は高比重：	1.0-1.2
	溶解性／溶解度：	溶媒（水）に対して 約350%
10	安定性及び反応性	
	安定性：	通常条件では安定である。
	危険有害反応可能性：	特に認められない。
	避けるべき条件：	特に認められない。
	混触危険物質：	酸化剤
	危険有害な分解生成物：	一酸化炭素、二酸化炭素
11	有害性情報	
	急性毒性：	現在のところ知見なし
	皮膚腐食性／刺激性：	現在のところ知見なし。
	眼に対する重篤な損傷	
	／刺激性：	現在のところ知見なし。
	呼吸器感作性又は皮膚感作性：	現在のところ知見なし。
	生殖細胞変異原性：	現在のところ知見なし。
	発がん性：	現在のところ知見なし。
	生殖毒性：	現在のところ知見なし。
	特定標的臓器毒性：	現在のところ知見なし。
	吸引性呼吸器有害性：	現在のところ知見なし。
12	環境影響情報	
	生態毒性	
	（魚類、甲殻類、藻類）：	現在のところ知見なし。
	残留性／分解性：	生分解性に富み、最終的には微生物などによって水、二酸化炭素などに分解される。
	生体蓄積性（BCF）：	現在のところ知見なし。
	土壌中への移動性：	現在のところ知見なし。
	オゾン層への有害性：	現在のところ知見なし。
13	廃棄上の注意	
		産業廃棄物処分、または焼却処分する。
		焼却する際は紙などの可燃性のものに吸着させて焼却すること。
		使用済みの容器は廃棄処分することが望ましい。
14	輸送上の注意	
	国連分類：	国連の分類基準に該当せず。
	国連番号：	該当なし。
	輸送の特定の安全対策	
	及び条件：	水濡れ、破袋等がなければ、移動時の振動に対して安全である。 荷崩れの防止を確実にすること。

15 適用法令

特になし

16 その他(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

問い合わせ先:

日澱化学株式会社 品質管理部

〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北三丁目3-29 TEL No. 06-6309-7654 FAX No. 06-6308-1655

引用文献:

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。

また、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。

注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点を御配慮をお願いします。